

シュレスヴィヒ・ホルシュタイン州概況

2018年2月

在ハンブルク日本国総領事館

1. シュレスヴィヒ・ホルシュタイン州基礎データ

- (1) 面積：約1万5,800k m²
- (2) 人口：約288万人（2016年12月現在）
- (3) 州都：キール
- (4) 内政：

ア 州首相：ダニエル・ギュンター（CDU）
（2017年5月～。一期目）

イ 政権：CDU/FDP/緑の党（ジャマイカ）連立

ウ 議会：（計73席）（任期は2022年までの5年間）

CDU（25議席）、SPD（21議席）、緑の党（10議席）、FDP（9議席）、AfD（5議席）、SSW（注）（3議席）

（注）デンマークの少数民族政党で、正式名称は「南シュレスヴィヒ有権者連盟」。独州議会で唯一5%条項の対象外とされている。

エ 前回州議会結果：（2017年5月実施）

CDU（32.0%）、SPD（27.2%）、緑の党（12.9%）、FDP（11.5%）、SSW（3.3%）、AfD（5.9%）、左派党（3.8%）

オ 概要：

2017年5月の州議会選挙戦ではSPDとCDUの支持率が拮抗する同州での展開に注目が集まったが、同選挙の結果CDUが得票率を伸ばしてSPDに約5%の差をつけ勝利し、ギュンター氏（CDU）を首班とするCDU、FDP、緑の党からなるジャマイカ連立が成立し、政権交代となった。次回の州議会選挙は2022年5月に実施予定。

(5) 経済（統計値は2016年）

ア 国内総生産：892億ユーロ（成長率：+2.9%、全独中シェア：2.8%）

イ 主要産業：観光、風力発電、医療、港湾、農業、食品、化学、製油、機械等。

ウ SH州には風力発電施設が2900基以上（ドイツ最多）。海洋技術、医療技術、ソフトウェア、エネルギー、環境技術を始め、テクノロジーセンターの数もトップクラスであり、情報通信分野だけでも1000以上の企業がある。キール市には近年、年間150隻のクルーズ船が寄港しており、観光にも力を入れている。

エ 同州輸出額は208.7億ユーロ、同州輸入額は207.7億ユーロ。



2. 日本との関係

(1) 領事関係

ア 在留邦人数：1,018名（2016年10月現在）

イ ハンブルグ日本人学校は同州内のハルステンベックにあり、生徒とその家族（ハンブルクに勤める日本企業駐在員等）が多数居住している。

(2) 領事関係

ア 主要日系企業：カシオ、シスメックス、三菱ペーパーミルズ、ヤマハ・ミュージック等計15社（2016年10月現在）

イ 対日輸出：2.1億ユーロ、対日輸入：4.1億ユーロ（2016年）

(3) 文化関係

ア 姉妹都市関係：

(ア) 同州は兵庫県と姉妹都市関係にある(1997年11月正式調印)。2010年秋には、兵庫県との交流に尽力のあったジモーニス元州首相に対し、旭日中綬章が授与された。2012年8月には、兵庫県の井戸知事がキールを訪問し、アルビツヒ州首相との間で協力関係の更なる強化を目指す覚書に署名したほか、カールステン前州首相に「兵庫健功労表彰」を授与した。2016年5月には、アルビツヒ州首相が訪日し、井戸知事への表敬訪問を行ったほか、神戸市に本社を置くシスメックス社やライフサイエンス関連施設への訪問を行った。2017年9月には兵庫県と同州の友好提携20周年を記念し、金澤兵庫県副知事一行がギュンター州首相へ表敬訪問を行い、兵庫県・同州友好提携20周年共同声明が調印された。

(イ) リューベック市は川崎市（神奈川県）と1992年より姉妹都市関係にある。

イ 独日協会：(計1協会)

同州には「シュレスヴィヒ・ホルシュタイン独日協会」があり、活発に日本文化関連行事を行っている。2015年8月にはヤノハ前会長に対し、約50年に及び日独関係の深化に対する功績を称え、ドイツ連邦政府より功労十字勲章が授与された。同協会は2015年に設立60周年記念行事を実施した。

ウ 日本研究・大学交流：

同州には日本語学科を有する大学は存在しないが、キール大学は近年、京都大学との間で研究者の相互訪問を開始し、2010年には正式に協力関係を締結。2016年7月には、「Kiaicon」と題しアニメや漫画、特にコスプレ等日本のサブカルチャーをテーマとした対日関心促進イベントが開催された。キール市フンボルト高校は、1998年10月より兵庫県立国際高等学校（当時は県立芦屋南高校）と交流を行っている（2006年6月に姉妹校提携）。

エ シュレスヴィヒ・ホルシュタイン州音楽祭：

7月から8月にかけて開催される同音楽祭では、2005年に日本特集が実施されたのははじめ、これまで多くの日本人音楽家が出演している。